

電力高騰!! 原発をやめれば

電気代2倍に!

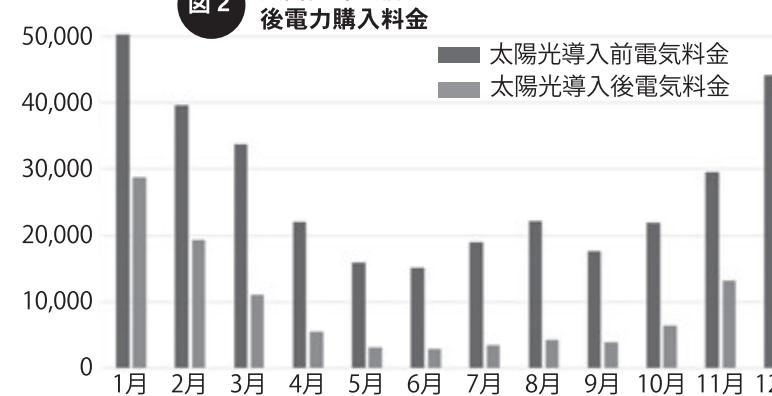
多くの世帯が1月の電気代の高さに驚いています。しかも各大手電力会社は4月以降さらなる値上げを予定しています。電力高騰に対し、どのように生活を防衛していくべきでしょうか。

福島市の4人世帯の購入電力は図1のように2倍に増加しています。この背景には、化石燃料価格の上昇があります。ロシアのウクライナ侵攻により、世界のエネルギー市場が逼迫したことによる影響です。オール電化の場合10万円を超える世帯もありますが、それでも生活できるレベルではあります。国の支援もありますが、焼石に水です。

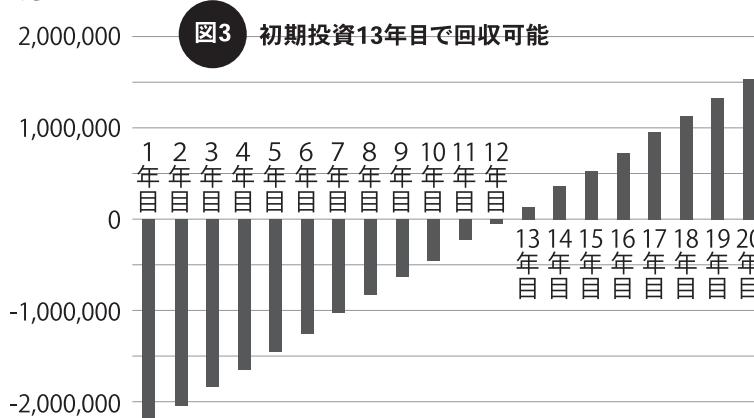
太陽光自家消費で家計と環境を守る



図2 太陽光導入前・後電力購入料金



何もしなければ高い電気を購入し続けなければなりません。自宅屋根や周辺に土地がある場合、自家消費型太陽光発電設置がおすすめです。表2に福島市で自宅屋根に太陽光発電6kWと蓄電池10kW設置した場合の試算を示しました。図2は太陽光導入前後の月別電力購入額の比較です。各月とも自家消費と蓄電池利用により購入電気代を減らすことができます。表2は年間の削減額と20年間の削減額、メンテナンス費用を考慮した試算です。太陽光発電を導入したことでの年間約20万円を節減した原資で太陽光を導入しています。蓄電池を導入しない場合は、余剰売電の選択肢もあります。



省エネ家電への切り替え

屋根への太陽光パネルが設置できない場合、省エネ家電への買い替えも光熱費削減に有効です。福島県では3月から省エネ家電購入の支援を始めました。[\(https://fukushima-shoen.e.jp/\)](https://fukushima-shoen.e.jp/) 地域の電気屋さんから購入することで支援額も増え、地域内経済循環を増やす政策です。ぜひ利用して省エネと温水暖化防止、原発再稼働を必要としない「選択」をしましょう。

農民連フラッシュ

福島県選出国会議員へ汚染水海洋放出中止を要請

2月17日福島県選出国会議員の議員事務所を訪問し、原発から発生する原発汚染水の海洋放出中止を求める要請を行いました。自民党的な亀岡偉民衆議員の秘書は「漁民の方と話すと海洋放出やむなし」という声も聞こえてくる。風評被害もしっかり行い、放出以外にも選択肢があればしっかりと検討していく」と回答しました。



のぼり旗第2弾、つくりました

東京電力福島第一原子力発電所からのALPS処理水（原発汚染水）の海洋放出を許さない、のぼり旗第2弾。今回はデザインを依頼。デザイナーさんは、海坊主風のイラストに「あれはなんだ！？」と目を引く、ちょっと怖いイメージで作成。汚染水の海洋放出、絶対止める。



太陽光発電用地をお貸しいただける方を募集しています。

- ① 福島市
 - ② 約2000~3000m²の遊休地
 - ③ 日当たりがよい
 - ④ 宅地、雑種地、林地、原野、農地などの地目の土地
- ご連絡いただければ、現地を確認させていただきます。



連絡先
福島農民連直農業協同組合 担当:佐々木健洋
TEL 024-546-7229 fax 024-546-8804
メールアドレス:stake@vmail.plala.or.jp